



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	153,657	21.4	13,860	26.4	14,015	40.0	7,922	36.3
25年3月期第2四半期	126,601	2.2	10,967	△0.9	10,008	7.0	5,811	13.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,089百万円 (201.9%) 25年3月期第2四半期 5,992百万円 (△6.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	41.79	41.79
25年3月期第2四半期	30.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	264,961		153,365		54.8	
25年3月期	244,725		138,078		53.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 145,179百万円 25年3月期 129,887百万円

2. 配当の状況

	第1四半期末		第2四半期末		年間配当金		期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
25年3月期	—	—	—	—	—	12.00	12.00	
26年3月期	—	—	—	—	—	—	—	
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—	14.00	14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	21.1	24,500	31.3	24,000	16.9	14,500	5.3	76.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	199,962,991 株	25年3月期	199,962,991 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	10,376,875 株	25年3月期	10,373,487 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	189,587,740 株	25年3月期2Q	189,591,206 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年11月12日(火)に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
4. 補足情報	14
(1) 連結分類別売上高明細表	14
(2) 地域別売上高	14
(3) 在外子会社為替換算レート	15
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の政策動向や中国やその他新興国経済の先行きに不安が残るものの、弱い回復が続き、底堅さも見られました。日本経済は、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益および雇用の改善などにより緩やかに回復しました。

スポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。高機能ランニングシューズ「GEL-NIMBUS 15」、「GEL-CUMULUS 15」、「GEL-KINSEI 5」の市場投入や、ランニングウエアを中心としたアパレルの拡充をグローバルレベルで行うとともに、世界各地のマラソン大会への協賛、モスクワで行われた世界陸上競技選手権大会における日本を含む世界7カ国の代表選手への当社製品の提供、米国MLB(メジャーリーグベースボール)のダルビッシュ有選手とのアドバイザー契約の締結など、ブランド価値および企業イメージの向上に努めました。

販売面におきましては、メキシコに販売子会社を設立するとともに、大阪、シドニーにアシックスブランドの旗艦店を、シドニー、神戸にオニツカタイガーブランドの旗艦店をそれぞれオープンするなど、売上拡大に努めました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は153,657百万円と前年同期間比21.4%の増収となりました。このうち国内売上高は、主にランニングシューズおよびベースボール用具が好調であったことに加え、自主管理売場の拡大に伴いウォーキングシューズおよびオニツカタイガーシューズが好調であったことなどにより、45,095百万円と前年同期間比3.9%の増収でした。海外売上高は、米州および欧州などでランニングシューズが好調に推移したことおよび為替換算レートの影響により、108,562百万円と前年同期間比30.5%の増収となりました。

売上総利益は主として売上高が増加したことにより、68,597百万円と前年同期間比25.6%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費および韓国子会社における支払手数料が増加したことなどにより、54,736百万円と前年同期間比25.4%の増加となり、営業利益は13,860百万円と前年同期間比26.4%の増益となりました。経常利益は為替差損が減少したことなどにより、14,015百万円と前年同期間比40.0%の増益となりました。四半期純利益は旧関東柏配送センターの土地売却による固定資産売却益の計上などにより、7,922百万円と前年同期間比36.3%の増益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、日本地域においてセグメント区分を変更しておりますが、前第2四半期連結累計期間について変更後の区分方法による作成が困難なため、比較を行っておりません。

①日本地域

日本地域におきましては、売上高は55,709百万円となり、セグメント利益につきましては1,425百万円となりました。

②米州地域

米州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は46,197百万円(前年同期間比33.2%増、前年度の為替換算レートを適用した場合12.0%増)となり、セグメント利益につきましては原価率の改善などにより、5,119百万円(前年同期間比59.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合33.7%増)となりました。

③欧州地域

欧州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は39,893百万円(前年同期間比29.0%増、前年度の為替換算レートを適用した場合7.3%増)となったものの、セグメント利益につきましては、広告宣伝費は圧縮しましたが、仕入コストにかかる為替レートの影響および直営店の新規出店による販売費及び一般管理費の増加などにより、4,359百万円(前年同期間比17.4%増、前年度の為替換算レートを適用した場合2.3%減)となりました。

④オセアニア地域

オセアニア地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は7,489百万円(前年同期間比32.9%増、前年度の為替換算レートを適用した場合14.0%増)となり、セグメント利益につきましては1,792百万円(前年同期間比30.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合11.7%増)となりました。

⑤東アジア地域

東アジア地域におきましては、為替換算レートの影響および韓国子会社において最終消費者への販売価格で売上高を計上したことの影響により、売上高は11,063百万円（前年同期間比67.8%増、前年度の為替換算レートを適用した場合36.7%増）となりましたが、韓国子会社において販売代理店に支払うコミッションを支払手数料として計上したことなどにより、セグメント利益は839百万円（前年同期間比32.2%増、前年度の為替換算レートを適用した場合8.0%増）となりました。

⑥その他事業

その他事業におきましては、ホグロフスブランドのアウトドアウェアなどが低調であったものの、アウトドアシューズが堅調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は4,037百万円（前年同期間比26.8%増、前年度の為替換算レートを適用した場合1.9%増）となりましたが、仕入コストにかかる為替レートの影響などにより、セグメント損失は794百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産264,961百万円（前連結会計年度末比8.3%増）、負債の部合計111,595百万円（前連結会計年度末比4.6%増）、純資産の部合計153,365百万円（前連結会計年度末比11.1%増）でした。

流動資産は、たな卸資産の増加などにより、194,234百万円（前連結会計年度末比9.9%増）でした。

固定資産は、アシックスジャパン株式会社新社屋の建設に伴う建設仮勘定の増加による有形固定資産の増加およびソフトウェアの増加による無形固定資産の増加などにより、70,726百万円（前連結会計年度末比4.0%増）でした。

流動負債は、短期借入金の増加などにより、68,553百万円（前連結会計年度末比7.1%増）でした。

固定負債は、リース債務および退職給付引当金の増加などにより、43,041百万円（前連結会計年度末比1.0%増）でした。

株主資本は、利益剰余金の増加により、140,387百万円（前連結会計年度末比4.2%増）でした。

その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益および為替換算調整勘定が増加したことにより、4,791百万円と前連結会計年度末に比べ9,603百万円増加しました。

少数株主持分は、8,183百万円（前連結会計年度末比0.1%減）でした。

また、キャッシュ・フローにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、33,084百万円と前連結会計年度末に比べ751百万円増加しました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,570百万円となり、前年同期間に比べ5,054百万円の収入減少となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益14,382百万円、売上債権の減少額3,189百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額8,738百万円、法人税等の支払額5,427百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,211百万円となり、前年同期間に比べ1,462百万円の支出減少となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入5,326百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出5,390百万円、有形固定資産の取得による支出3,446百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は638百万円となり、前年同期間1,435百万円の支出から収入に転じました。

収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額5,446百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額2,272百万円、長期借入金の返済による支出2,136百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,420	38,432
受取手形及び売掛金	70,600	72,249
有価証券	2,472	2,150
商品及び製品	54,491	68,425
仕掛品	329	302
原材料及び貯蔵品	1,118	1,206
繰延税金資産	4,835	5,412
その他	8,024	8,682
貸倒引当金	△2,593	△2,627
流動資産合計	176,698	194,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,154	29,456
減価償却累計額	△20,019	△18,669
建物及び構築物 (純額)	11,135	10,787
機械装置及び運搬具	4,642	4,773
減価償却累計額	△3,633	△3,740
機械装置及び運搬具 (純額)	1,008	1,032
工具、器具及び備品	14,895	16,261
減価償却累計額	△9,353	△10,099
工具、器具及び備品 (純額)	5,542	6,162
土地	10,048	9,597
リース資産	4,890	5,654
減価償却累計額	△1,519	△1,840
リース資産 (純額)	3,370	3,813
建設仮勘定	539	2,063
有形固定資産合計	31,644	33,456
無形固定資産		
のれん	4,964	5,093
その他	12,941	13,581
無形固定資産合計	17,906	18,674
投資その他の資産		
投資有価証券	9,375	9,317
長期貸付金	399	393
繰延税金資産	1,174	1,021
その他	8,027	8,383
投資損失引当金	—	△74
貸倒引当金	△500	△446
投資その他の資産合計	18,476	18,596
固定資産合計	68,026	70,726
資産合計	244,725	264,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,973	28,212
短期借入金	11,479	16,385
リース債務	560	618
未払費用	10,796	9,214
未払法人税等	3,192	3,873
未払消費税等	906	1,067
返品調整引当金	605	522
賞与引当金	2,295	2,040
繰延税金負債	31	113
資産除去債務	3	1
その他	7,185	6,502
流動負債合計	64,028	68,553
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	8,305	8,472
リース債務	3,029	3,399
退職給付引当金	8,405	8,719
繰延税金負債	3,917	4,116
資産除去債務	711	770
その他	2,249	1,563
固定負債合計	42,618	43,041
負債合計	106,646	111,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	101,368	107,062
自己株式	△7,823	△7,829
株主資本合計	134,699	140,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,327	2,571
繰延ヘッジ損益	1,050	2,281
在外子会社資産再評価差額金	287	240
為替換算調整勘定	△8,476	△302
その他の包括利益累計額合計	△4,812	4,791
新株予約権	—	3
少数株主持分	8,191	8,183
純資産合計	138,078	153,365
負債純資産合計	244,725	264,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	126,601	153,657
売上原価	72,198	85,177
返品調整引当金戻入額	580	546
返品調整引当金繰入額	383	429
売上総利益	54,600	68,597
販売費及び一般管理費	43,632	54,736
営業利益	10,967	13,860
営業外収益		
受取利息	222	243
受取配当金	108	115
負ののれん償却額	3	—
その他	277	339
営業外収益合計	612	698
営業外費用		
支払利息	355	379
為替差損	1,139	82
その他	76	82
営業外費用合計	1,571	543
経常利益	10,008	14,015
特別利益		
固定資産売却益	147	424
投資有価証券売却益	27	38
投資有価証券償還益	6	—
特別利益合計	182	462
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	19	16
投資有価証券評価損	102	50
投資有価証券売却損	—	25
投資有価証券償還損	6	—
特別損失合計	128	95
税金等調整前四半期純利益	10,062	14,382
法人税等	3,861	5,962
少数株主損益調整前四半期純利益	6,201	8,420
少数株主利益	389	497
四半期純利益	5,811	7,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,201	8,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	242
繰延ヘッジ損益	273	1,215
在外子会社資産再評価差額金	△46	△46
為替換算調整勘定	△249	8,257
その他の包括利益合計	△208	9,669
四半期包括利益	5,992	18,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,623	17,517
少数株主に係る四半期包括利益	368	572

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,062	14,382
減価償却費	2,380	2,805
のれん償却額	372	540
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△380	△195
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	409	381
賞与引当金の増減額 (△は減少)	140	△333
投資有価証券評価損益 (△は益)	102	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27	△12
投資有価証券償還損益 (△は益)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△330	△359
支払利息	355	379
為替差損益 (△は益)	992	28
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△127	△404
その他の損益 (△は益)	△238	△734
売上債権の増減額 (△は増加)	2,054	3,189
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,992	△8,738
その他の資産の増減額 (△は増加)	129	△1,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,213	△468
未払消費税等の増減額 (△は減少)	52	92
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,283	△2,332
小計	12,441	7,045
利息及び配当金の受取額	326	370
利息の支払額	△355	△380
法人税等の還付額	—	963
法人税等の支払額	△4,786	△5,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,625	2,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,520	△5,390
定期預金の払戻による収入	4,035	5,326
有形固定資産の取得による支出	△1,078	△3,446
有形固定資産の除却による支出	△1	△16
有形固定資産の売却による収入	296	1,241
無形固定資産の取得による支出	△437	△590
有価証券の純増減額 (△は増加)	625	△38
投資有価証券の取得による支出	△666	△680
投資有価証券の売却及び償還による収入	243	1,083
子会社株式の取得による支出	—	△698
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△15	△9
長期貸付けによる支出	△2	△0
長期貸付金の回収による収入	5	4
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△159	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,673	△3,211

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	547	5,446
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△360	△2,136
自己株式の取得による支出	△0	△5
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△268	△316
配当金の支払額	△2,283	△2,272
少数株主への配当金の支払額	△71	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△991	753
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	524	751
現金及び現金同等物の期首残高	26,983	32,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,507	33,084

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY.LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、前第4四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	45,526	34,671	30,936	5,636	6,594	3,183	126,550	51	126,601
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,330	0	—	—	—	—	8,330	(8,330)	—
計	53,857	34,671	30,936	5,636	6,594	3,183	134,880	(8,278)	126,601
セグメント 利益又は損失	2,490	3,217	3,712	1,377	635	(339)	11,094	(126)	10,967

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	44,847	46,197	39,893	7,489	11,063	4,037	153,527	129	153,657
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,861	—	—	—	—	—	10,861	(10,861)	—
計	55,709	46,197	39,893	7,489	11,063	4,037	164,389	(10,731)	153,657
セグメント 利益又は損失	1,425	5,119	4,359	1,792	839	(794)	12,742	1,118	13,860

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、国内の組織再編として、吸収分割および吸収合併により、平成25年1月1日付で、世界本社機能と日本事業を分離し、当社における日本事業をアシックスジャパン株式会社およびアシックス販売株式会社に移管いたしました。これにより従来「日本地域」に含まれていた当社および国内製造子会社の業績を調整額に移行させることで、「日本地域」には日本事業のマーケティング・販売機能の業績のみを反映させ、セグメント情報の有用性をさらに高めることといたしました。この組織再編に伴い、取締役会に報告する区分の見直しを行ったため、報告セグメントを上記のとおりに変更することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間についてセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額を、変更後の報告セグメント区分により収集していないため、これによる前第2四半期連結累計期間のセグメント利益を算出することは実務上困難であります。よって当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額に関する情報を、変更前の区分により表示すると次のようになります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	44,914	46,197	39,893	7,489	11,063	4,037	153,594	62	153,657
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,257	—	—	—	—	—	18,257	(18,257)	—
計	63,171	46,197	39,893	7,489	11,063	4,037	171,851	(18,194)	153,657
セグメント 利益又は損失	4,060	5,119	4,359	1,792	839	(794)	15,378	(1,517)	13,860

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

重要な事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	24,723	19.6	26,201	17.0	1,477	6.0
	海外	72,843	57.5	93,971	61.2	21,128	29.0
	計	97,567	77.1	120,172	78.2	22,605	23.2
スポーツウエア類	国内	12,652	10.0	12,414	8.1	△237	△1.9
	海外	8,232	6.5	11,564	7.5	3,331	40.5
	計	20,885	16.5	23,979	15.6	3,094	14.8
スポーツ用具類	国内	6,010	4.7	6,479	4.2	468	7.8
	海外	2,138	1.7	3,025	2.0	886	41.5
	計	8,148	6.4	9,504	6.2	1,355	16.6
合計	国内	43,386	34.3	45,095	29.3	1,708	3.9
	海外	83,215	65.7	108,562	70.7	25,346	30.5
	計	126,601	100	153,657	100	27,055	21.4

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウエア類：トレーニングウエア、アスレチックウエア、スクールスポーツウエア、ベースボールウエア、スイムウエア、スポーツスタイルウエア、アウトドアウエア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
43,386	34,691	33,080	15,443	126,601

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
45,095	46,200	41,991	20,370	153,657

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成25年3月期第2四半期 (円)	79.48	103.29	81.89	0.0695	11.65
平成26年3月期第2四半期 (円)	94.56	124.18	95.42	0.0856	14.50
増 減 (円)	+15.08	+20.89	+13.53	+0.0161	+2.85
増 減 比 (%)	+19.0	+20.2	+16.5	+23.2	+24.5

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	+12.0	+7.3	+14.0	+36.7	+1.9
	(邦貨)	—	+33.2	+29.0	+32.9	+67.8	+26.8
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	+33.7	△2.3	+11.7	+8.0	—
	(邦貨)	—	+59.1	+17.4	+30.1	+32.2	—
セグメント利益率 (%)		2.6	11.1	10.9	23.9	7.6	△19.7